第７３回大分県高等学校総合体育大会

17.　バドミントン競技実施要項

１ 期日　令和７年 ５月 24日 （土）　８：３０～監督会議
９：３５～開会式
１０：００～団体戦（決勝まで）・個人戦複（１，２回戦）※予定
25日（日）　９：３０～個人戦複（決勝まで）・個人戦単（１，２回戦）※予定
26日（月）　９：３０～個人戦単（決勝まで）
※初日、２日目の個人戦日程は出場者数により変更することがある

２ 会場　クラサス武道スポーツセンター
〒870-0126 大分市大字横尾 1351 番地
097-520-0800

３ 競技種目
男女とも団体戦および個人戦（複・単）を行う。

４ 競技規則
（１） 令和７年度（公財）日本バドミントン協会競技規則による。
（２） 服装は（公財）日本バドミントン協会の審査合格品とする。
（３） ウエアの校名表示は（公財）日本バドミントン協会大会運営規程第 24 条と全国高体連バドミントン専門部の「申し合わせ事項」の定めによる。

※ゲームウエアの表示について　*上級大会出場チーム、また、新ユニフォーム作成の際は守ること。*
大分県バドミントン協会ホームページの解説
https://oita-bad.org/archive/202306228127.html
日本バドミントン協会　大会運営規程 第４章 第２４条（改訂）について　２０１９．１．２７
https://www.badminton.or.jp/docs/20190318_article24_revision.pdf
全国高体連バドミントン専門部の上記改訂と「申し合わせ事項」について
http://www.zenkoku-koutairen-bad.com/renraku/2019/20191015wear--.pdf

５ 競技方法
（１） 団体戦
ア．トーナメント方式（２複・３単）で行う。21 点３ゲームで行う
イ．複・複・単・単・単の順に実施する。（３点先取）
（２） 個人戦ア.ダブルス（複）・シングルス（単）とも、トーナメント方式で行う。21 点３ゲームで行う

６ 参加資格

（１） 「第７３回大分県高等学校総合体育大会実施要項」の参加資格に準ずる。

（２） 合同チームの参加について

ア．団体戦について、以下の要件を満たす場合には合同チームとしての参加を認める。

・各校の部員数が４名以下であること。また、当該大会の**個人戦に出場する選手で編成**すること。

・合同チームの参加経費、引率、監督・コーチ等、大会参加に関わる事項について、各学校長が認めていること。

イ．団体戦への合同チームによる参加の場合は、事前（申し込み手続き以前）に下記の専門委員長まで連絡すること。

ウ．個人戦（ダブルス）については、学校が異なる合同ペアの参加は認めない。

（３） (公財)日本バドミントン協会の登録について

参加する選手・監督・コ-チ・マネ-ジャ-は、当該年度(公財)日本バドミントン協会の登録が必要。未登録者は大会当日までに登録する。（未登録の場合は、原則として出場できない。）

７ 参加制限

（１） 団体戦

ア． 監督１名・選手５名以上７名以内とし、コーチ及びマネージャーを各１名認める。（※４）

※１ 監　督：当該校の教職員または外部指導者

※２ コーチ：当該校の教職員または外部指導者

※３ マネージャー：当該校の教職員または生徒

※４ マネージャーが「6 参加資格」を満たす高校生の場合、団体戦選手を兼ねることができ、団体選手を８名とすることができるが、さらにマネージャーを追加することはできない。申込用紙のマネージャー欄に「選手８」または「専任」の区別を入力すること。また、「選手８」は参加料が必要となり、「専任マネージャー」は参加料不要となる。

イ． 第１単は単・複を兼ねることは出来ない。ただし、第２・３単は複を兼ねることができる。

（２） 個人戦

ア． 各校とも複４組・単は６名以内とする。

イ． 令和６年度県新人大会において、複・単３位入賞者（ベスト４）は別枠出場ができる。ただし、複の組み替えは一つのみ認める。

８ 参加申込

（１） No１７ 男子・女子の様式で作成し、各２部印刷して、所定の学校一括申し込みにする。

（２） 承認を得た申込書と同一内容の電子データを下記にメールでも送信する。

ファイル名：「男女_学校名_監督名」　　(例)男女_由布_高椋.xlsx 女子_由布_高椋.xlsx など

※大会参加に際しては、本人及び保護者の参加同意書を提出すること。

送信先メールアドレス　takamuku-noriaki@oen.ed.jp

専門委員長　　由布高等学校　　高椋　規照　あて　（データ送信期限：５月８日（木）10:00 必着）

９　出場権の獲得

（１） 団体１位、個人(単・複)１・２位には全国大会の出場資格を与える。

（２） 団体１・２位、個人(単・複)ベスト４には九州大会の出場資格を与える。

10　諸会議

第１回専門委員会　　令和７年５月１４日㈬９時～　大分商業高校内　高体連会議室

監督会議　　令和７年５月２４日㈯８時 30 分～　会場にて

11　連絡事項

（１）　全参加校は大会使用球の負担をする。大会当日の受付で持参または納入する。

ア.　団体戦出場校（男女別）は、使用球（ニューオフィシャル）２ダースまたは８０００円

イ.　個人戦のみの参加校は、使用球代金として複・単別に１人６００円 （複・単出場者は１２００円）

（２）　団体戦の出場校は**別紙**の通り、全国高体連運営負担金 1000 円（男女別）を納入する

（３）　団体戦の選手変更は、大会初日の監督会議までとする。ただし病気・怪我の場合のみ。

（４）　個人戦の申込順は、別枠出場者も含めて校内ランキング順に記入すること。

（５）　原則として、審判は敗者、または相互審判等出場選手で行うので、各校で十分に審判の練習をしておくこと。

（６）　その他、問合せは、高椋規照　090（3609）4500　まで。

12　感染症等の対策

（1）熱中症・感染症等の対策については、別途定める留意事項を遵守すること。

（2）競技中の傷病など緊急時の対応については、救急体制に従って行動すること。

別紙　運営負担金文書（Ｒ７）

令７全高体連バド専第３号
令和７年４月７日

学校長　様

公益財団法人全国高等学校体育連盟
バドミントン専門部
部　長　　菊　地　　亨

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について

日頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。
(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部ではインターハイ開催費補助及び専門部運営費補助の目的で専門部運営負担金の徴収をお願いしております。各都道府県専門部におかれましては、下記の要領で徴収をお願いいたします。
インターハイ開催及び専門部運営には収入源が乏しい中ではありますが多額の経費がかかります。インターハイ開催経費確保や開催地負担の軽減問題及び専門部運営については、運営のスリム化とともに今後も継続して取り組んでいかなければならない問題です。専門部運営負担金については関係者に対してさらなる趣旨説明と適切な運用をしてまいります。今後とも本連盟の取り組みに対し、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

１、名　称　　専門部運営負担金
２、徴収目的　　インターハイの安定開催及び専門部運営費補助
３、対　象　　各都道府県におけるインターハイ予選　学校対抗団体戦出場校(男女別)
１部２部での実施等や大会名を変えて団体戦を実施している場合でも、インターハイ予選に出場したとみなします。漏れの無いようにお願いいたします。
４、徴収金額　　１チーム　１，０００円
５、徴収金額総額の見込み額　５００万円
６、徴収方法
各都道府県申込みまたは大会開催日に各都道府県専門部で徴収　→　各都道府県専門部から一括で全国専門部指定口座入金
７、徴収金の使途
インターハイ補助　300 万円（旅費補助 280 万円、大会補助 20 万円）
専門部運営費補助　200 万円（常任委員会費（1 月、2 月）130 万円）
（次期インターハイ開催地会場視察費 20 万円）
（小委員会旅費50 万円）
８、入金先
お振込先は専門委員長に別途連絡しますので、6 月 30 日までに都道府県ごと一括でのご入金をお願いいたします。また、お振込みは都道府県名で行い、分担金とは別にお振り込みをお願いいたします。
９、連絡先

長野県諏訪郡下諏訪町 7401　長野県下諏訪向陽高校
新 井　研 二　Tel.0266-28-7594